

令和 6 年度卒業生からの一言メッセージ

昨年度、卒業し、新人看護師になった卒業生から「当校での学びが卒業後、どのように活かされているか」メッセージをもらったので紹介します。

県立新発田病院 H・Tさん

学校の授業では、臨床経験が豊富な先生方や現場で働く看護師から実践的な知識と技術を学ぶことができました。病院実習で学んだことを活かし、看護師になった今でも、さまざまな年齢や疾患、性格の異なる患者さんに対して、「基本」を大切に看護を提供しています。新発田の看護学校は、先生方からの手厚いサポートを受けて学ぶことができるので安心です。



県立十日町病院 M・Yさん

解剖生理等の基礎から看護の応用まで、幅広い知識を学ぶことができました。科目が終わると、テストが多くなるので大変でしたが、知識が定着していることを感じました。病院実習では、限られた時間の中で記録を書くことで患者さんのことを考える力がつき、看護師になった今では、状態が変わる医療現場の中で、実習での学びが活かされていると感じます。

県立中央病院 A・Uさん

授業では、病院で働く臨床経験豊富な医師・看護師が講義をしてくださり、教科書に留まらない実践的な知識や技術について学ぶことができました。学生の時、病院実習で患者さんの希望を叶えるためには、どうすれば良いか、たくさん考えた経験が現在の看護の土台になっていると感じています。



新潟市民病院 K・Yさん

看護学校の講義では、医師や看護師、多職種の方々から病院の現場における知識を教えていただきました。充実した病院実習を経験し、患者さんとの関わりの中で看護におけるコミュニケーションの重要性を学びました。看護学校で学んだ多角的な視点が今の看護に役立っています。

新潟大学医歯学総合病院 M・Sさん

様々な患者さんとの関わりを通して、病院の看護師や先生方から助言を受けながらコミュニケーションや個別性の大切さについて学びました。病院で看護師として働く今では、患者さんに必要なケアを考える力がつき、安全・安楽な看護を提供することに繋がっていると感じています。

